

教科の目標

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

評価の観点

- ・自然事象に興味・関心をもって追求し、生物を愛護するとともに、見いだした特性を生活に生かそうとする。
- ・自然事象の変化とその要因とのかかわりに問題を見だし、変化と関係する要因をとらえ、問題を解決する。
- ・簡単な器具や材料を見付けたり、使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果をわかりやすく表現する。
- ・動物の活動や植物の成長の仕方は環境条件と関係があることや、空気、水、電気、などにはきまった性質や働きがあること、月や星の位置や水が変化していることなどを理解している。

評価の方法

学習態度 実験態度 観察記録 発表 ノート テスト

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習のすること	学習のポイント
前期	春のしぜん	・春になって、身の回りの植物や、昆虫などの動物の様子がどうなっているのかに興味をもち、気づいたことをまとめたり、ヒョウタンの種をまいてその成長を記録していったりする。
	電気のはたらき	・光電池を使ったおもちゃ作りを通して光りの強さと電流の強さを関連づけてとらえたり、乾電池の数やつなぎ方によって豆電球の明るさに違いがあることをとらえたりする。
	夏のしぜん 夜空を見よう	・生き物のくらしやヒョウタンの成長の様子を調べる。 ・星には明るさや色のちがうものがあることや、星や星座は、1日のうちで時刻によって並び方は変わらないが見える位置が変わることに気づく。
	月や星	・月や星の動きを観察する。
後期	空気や水をとじこめる	・閉じこめた空気を押したときの様子や、閉じこめた水を押した時の様子を調べる。
	秋のしぜん	・身の回りの植物や動物の様子、ヒョウタンの成長の様子を調べる。
	ものの温度とかさ 冬の夜空	・空気・水・金属の温度とかさについて調べる。 ・オリオン座などの星座を観察し、冬の星や星座について知る。
	冬のしぜん	・身の回りの植物や動物の様子を観察し、動物の冬越しについてまとめる。樹木の冬芽を観察する。
	もののあたたまり方 水のすがた	・金属板や金属棒・水や空気のあたたまり方を予想して調べる。 ・水をあたためたり冷やしたりしたときの温度と様子を調べる。 ・水は、気体・液体・固体と変化することをまとめる。
	生き物の1年間	・1年間観察してきた生き物の様子をまとめる。

||

|